

活動報告書

自：平成23年 4月 1日

至：平成24年 3月31日

1. 活動の概況

(1) 活動の経過及び成果

水中作業

平成23年4月	5回	・水中清掃ボランティア開始
平成23年5月	5回	・大船渡市綾里漁港と合同で河川清掃、漁場調査開始
平成23年6月	9回	・越喜来湾にてダイビングポイント清掃とチャリティダイブ開始
平成23年7月	12回	・マリンダイビングフェア2011でチャリティTシャツ等の販売
平成23年8月	25回	・綾里漁協と合同でワカメのメカブ収穫
平成23年9月	16回	・宮城県女川町竹浦にて活動開始
平成23年10月	18回	・特定非営利活動法人（NPO）認可を受ける
平成23年11月	9回	・三陸町吉浜川にてサーモンスイム開始
平成23年12月	9回	・環境省の三陸復興公園（仮称）意見交換会に出席
平成24年1月	10回	・㈱ゼロと合同で水中津波警報装置の実験
平成24年2月	14回	・越喜来湾にてワカメの間引き作業に参加
平成24年3月	6回	・広島国際学院大学等で活動報告講演会開催
合計	138回	

(2) 当団体が対処すべき課題

- ・震災から1年を経過しボランティア熱が低下する状況における参加者数の確保。
- ・会員の増加と事業の拡大に伴う組織運営の複雑化と対応。
- ・漁業従事者とダイバーが協力した中での地元発展の中長期的な展望。

2. 団体の概況（平成24年3月31日現在）

(1) 主要な事業内容

東日本大震災により三陸沿岸部は甚大な被害を被り、漁業を始め沿岸部の方々の生活が奪われたことに対して救援活動と環境整備を行う。管轄の漁協と共に海岸、海底、河川での清掃、調査を行い漁場回復、漁港や河川の整備を図る。特にスクーバダイビング等の手法を用い、自治体で行う撤去作業、清掃作業でカバーできない海底の清掃・調査を行う。漁場回復、漁港、河川の環境整備は漁業関係者のみで無く、沿岸部の方々の生活に大きく影響し、被災地全体の復興に大きく寄与する。

(2) 主要な事業所

岩手県陸前高田市横田町友沼46イ

東京都品川区大崎3丁目1番1-1704号

特定非営利活動法人三陸ボランティアダイバーズ

(3) 社員の状況

10 名

(4) 理事及び監事

地 位	氏 名	主 な 職 業
理事長	佐藤寛志	
副理事長	早乙女祐基	
理事	越智隆治	
監事	山下将則	